

東北地方 1か月予報

(4月12日から5月11日までの天候見通し)

平成15年4月11日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

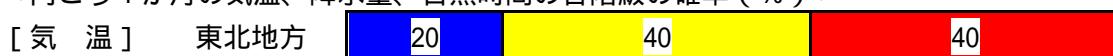
向こう1か月の可能性の大きな天候は以下のとあります。

天気は周期的に変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。寒気が南下する時期もあり、おそ霜の降りる恐れがあります。

向こう1か月の気温は平年並か高い、降水量は平年並、日照時間は平年並の見込みです。

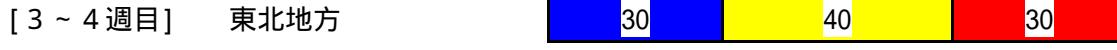
週別の気温は、1週目は高い、2週目は平年並か低い、3~4週目は平年並でしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



■ 低い ■ 平年並 ■ 高い

<予報の対象期間>

1か月 : 4月12日(土) ~ 5月11日(日)

1週目 : 4月12日(土) ~ 4月18日(金)

2週目 : 4月19日(土) ~ 4月25日(金)

3~4週目 : 4月26日(土) ~ 5月 9日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は4月18日

3か月予報：4月24日(木) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温 ()	降水量 (mm)	日照時間 (時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	10.8	151.6	180.3	8.8	10.2	11.8
新庄	10.6	106.9	161.1	8.0	9.9	12.0
若松	12.2	70.6	184.0	9.7	11.5	13.5
深浦	10.1	104.7	177.9	8.2	9.5	11.1
青森	10.0	71.1	192.3	7.8	9.3	11.1
むつ	9.1	92.7	196.9	7.0	8.4	10.2
八戸	10.2	70.5	197.4	8.1	9.5	11.3
秋田	11.2	127.8	175.5	9.1	10.5	12.2
盛岡	10.6	106.2	181.6	8.2	9.8	11.7
宮古	10.5	100.6	189.3	8.5	9.9	11.5
酒田	11.8	119.0	179.3	9.7	11.1	12.9
山形	12.2	76.4	186.6	9.7	11.4	13.4
仙台	12.0	105.2	190.6	9.9	11.4	13.1
石巻	11.1	100.3	192.9	9.0	10.5	12.1
福島	13.5	83.9	189.9	11.1	12.8	14.7
白河	11.9	110.4	182.7	9.7	11.3	13.1
小名浜	12.8	140.1	187.4	10.9	12.3	13.7

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4~+0.5	87~116	97~104
東北日本海側	-0.6~+0.5	89~114	96~105
東北太平洋側	-0.3~+0.4	81~117	96~104

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.7~+0.7	-0.6~+0.6	-0.4~+0.7
東北日本海側	-0.8~+0.6	-0.7~+0.5	-0.5~+0.7
東北太平洋側	-0.6~+0.8	-0.6~+0.7	-0.4~+0.7

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるよう決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、予報した階級が実際に起こる割合(出現率)を表しています。たとえば、確率60%の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率(各階級ともに33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成15年4月11日 仙台管区気象台

1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう1か月(4月12日~5月11日) :

天気は周期的に変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。寒気が南下する時期もあり、おそれが霜の降りる恐れがあります。

平均気温は平年並か高いでしょう。

1週目(4月12日~4月18日) :

期間の初めは気圧の谷の影響で天気のくずれる所がありますが、その後は高気圧に覆われ概ね晴れるでしょう。

平均気温は高いでしょう。

2週目(4月19日~4月25日) :

天気は周期的に変わりますが、一時寒気が南下し、おそれが霜の降りる恐れがあるでしょう。

平均気温は平年並か低いでしょう。

3~4週目(4月26日~5月9日) :

天気は周期的に変わりますが、一時寒気が南下し、おそれが霜の降りる恐れがあるでしょう。

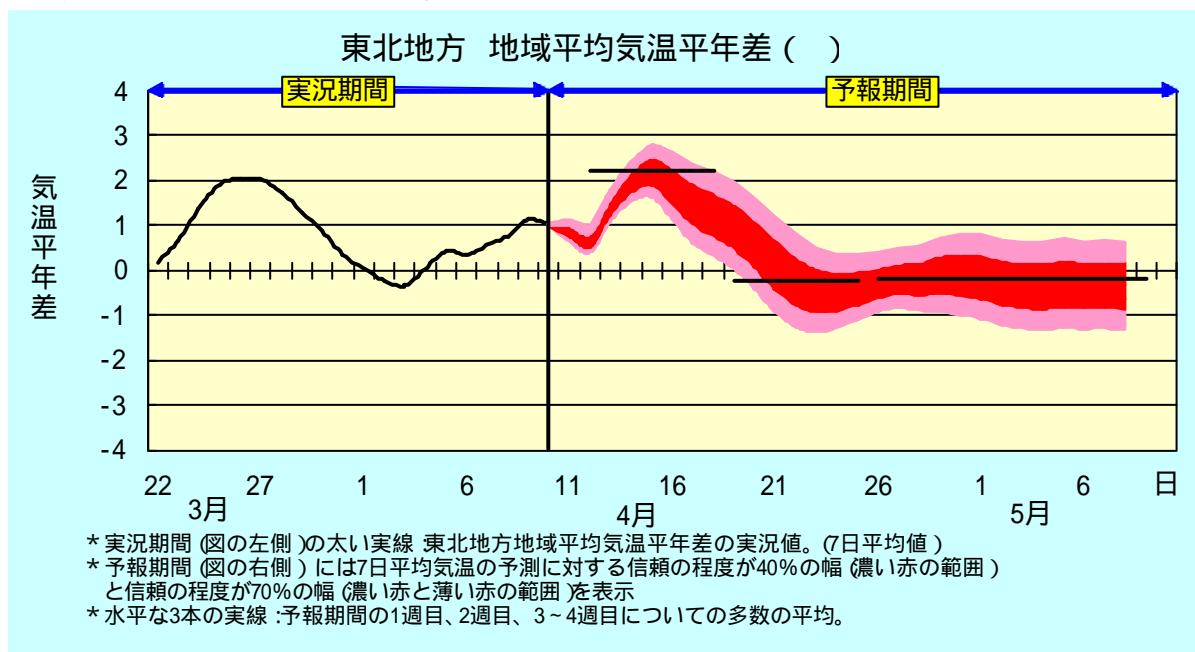
平均気温は平年並でしょう。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	15.6日	3.8日	4.0日	7.8日
東北太平洋側	16.3日	4.0日	4.3日	8.0日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目「高い」、2週目、3~4週目共に「平年並」を予測している。予報は、その他の資料から2週目を「平年並か低い」とする他は、数値予報どおりとする。なお、数値予報の信頼度は大きい。

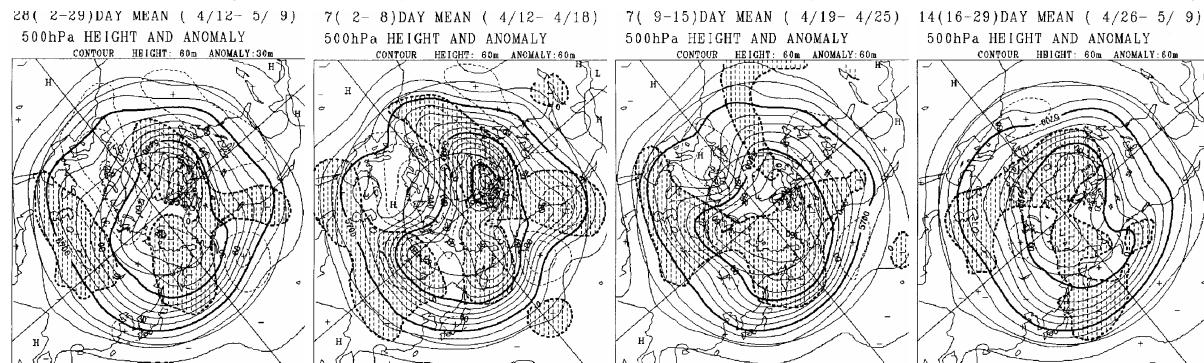


3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、日本付近は黄海に中心を持つ正偏差に広く覆われる。等高度線は日本付近で東西に延びるため、偏西風の流れは東西流が基調となり、天気は周期的に変わる。

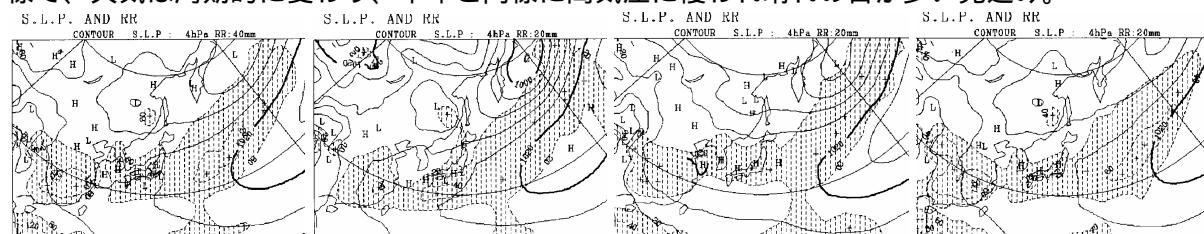
週別に見ると、1週目は日本付近に正偏差の中心がある。2週目は月平均と同様で、日本付近は正偏差に覆われる。3~4週目は、大陸から日本付近は正偏差だが、日本の東海上は負偏差となる。



地上気圧と降水量：

月平均では、日本付近に高気圧が張り出しが、日本の北は低圧部。日本付近の等圧線の間隔はまばらで、天気は平年と同様に周期変化が基調となる。降水域は日本付近で東西に延びる。

週別に見ると、1週目は北の低圧部に向かって南から暖気が入り易い。2週目以降は月平均と同様で、天気は周期的に変わり、平年と同様に高気圧に覆われ晴れの日が多い見込み。

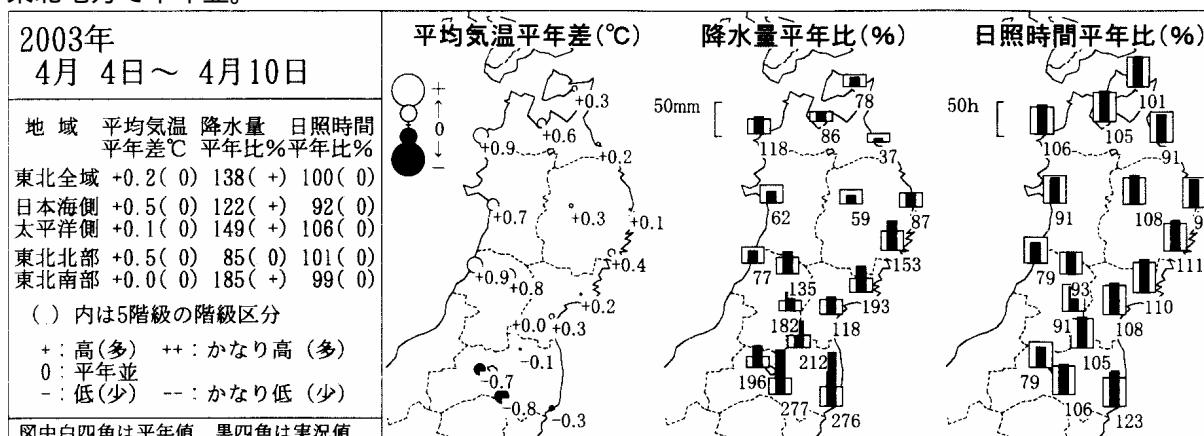


4. 最近1週間(4月4日~4月10日)の天候の経過

この期間、天気は周期的に変わった。5日は日本の南岸から三陸沖に進んだ低気圧、8~9日は日本海から三陸沖に抜けた低気圧や前線の影響で雨となつたが、その他の日は高気圧に覆われ晴れた。また、6日は三陸沖で低気圧が発達したため、東北地方では気圧の傾きが急となって各地で強風となり、交通障害の発生した所があった。

なお、8日は福島と小名浜、9日は仙台で桜が開花した。

平均気温は、東北地方で平年並。降水量は、東北北部で平年並、東北南部で多い。日照時間は、東北地方で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)